

## 平成24年度

### 「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

#### 第1問（配点 40 点）

##### （設問1）

D 旅館における改修工事の結果、期待される予想損益計算書を求めることで、診断および助言の基礎となる数値を算出する能力を問う問題である。

##### （設問2）

改修工事の結果、D 旅館に現れた財政状態および経営成績の変化を経営分析により明らかにするために、経営が改善したとみなされる財務指標を発見し、適切に述べる能力を問う問題である。

##### （設問3）

改修工事によって生じると期待される D 旅館のキャッシュフローの増分を求め、これに基づき、投資の経済性評価を行う能力を問う問題である。

#### 第2問（配点 30 点）

##### （設問1）

第1問とは異なる改善案において、予想損益計算書から固定費、変動費を求め、損益分岐点比率を求める能力を問う問題である。

##### （設問2）

第1問とは異なる改善案において、D 旅館が要求する損益分岐点比率を達成するためのコスト削減額を求める能力を問う問題である。

#### 第3問（配点 30 点）

##### （設問1）

オーナーが退陣した場合の D 旅館の予想キャッシュフロー、加重平均資本コストを求め、これらの数値に基づいた企業価値を算定する能力を問う問題である。

##### （設問2）

D 旅館のオーナーに対し、事業承継先候補や承継の際の課題について適切な助言をする能力を問う問題である。

以上